

平成 29 年度事業の総括

特別養護老人ホーム 暁 星 園

1. 移転後 3 年目の運営状況

現在の東仙台の地に移転して 3 年が経過した。旧暁星園からの入居者も現施設に慣れ、穏やかに日常を過ごしている。職員にも余裕が生まれ、日々の業務に勤しんでいる。

平成 29 年度の退所者は 17 名（死亡退所 14 名、他施設入所 3 名）で、昨年度より 6 名少ない数であった。生活相談員による事前の実態調査が円滑行なわれており、退所後もそんなに日を開けずに次の方の入所に結び付いた。その結果、年間の入所利用率は移転後最高の 98.98% を記録した。

短期入所事業は昨年度並みの数字を維持した。1 日平均 17.6 人の利用で、定員 20 名に対する利用率は多い月で 92.3%、年間平均で 88.2% となった。

ケアプランセンターは、引き続き 3 名体制で稼働している。給付管理提出状況平均は、昨年度比 22.9 件増の 87.5 件となり、年々件数が増加している。介護支援専門員 1 名当りの担当件数は 29.1 件となっている。課題としては、困難事例への対応と予防給付受託業務への対応が挙げられる。

2. 特養入居者の状況

特養への入所申込みが原則要介護 3 以上になったこともあり、平均要介護度は平成 29 年度年間平均で 4.27 と昨年度より 0.40 ポイント高くなり、入居者の重度化が顕著になっている。中でも要介護 5 の入居者数が 50 名と全体の約 42% を占めている。一方、入居者の平均年齢は 87.3 歳となっており、こちらも昨年度より 1.1 歳高くなり、高齢化も顕著になる結果となった。

退所者 17 名の平均在籍年数は 3 年 6 か月となっており、園内での看取りが 12 名、入院中の病院での帰天者が 2 名であった。亡くなられた方には遺族と職員だけでなく入居者の皆様にも参列していただき、お別れ会を行って見送っている。

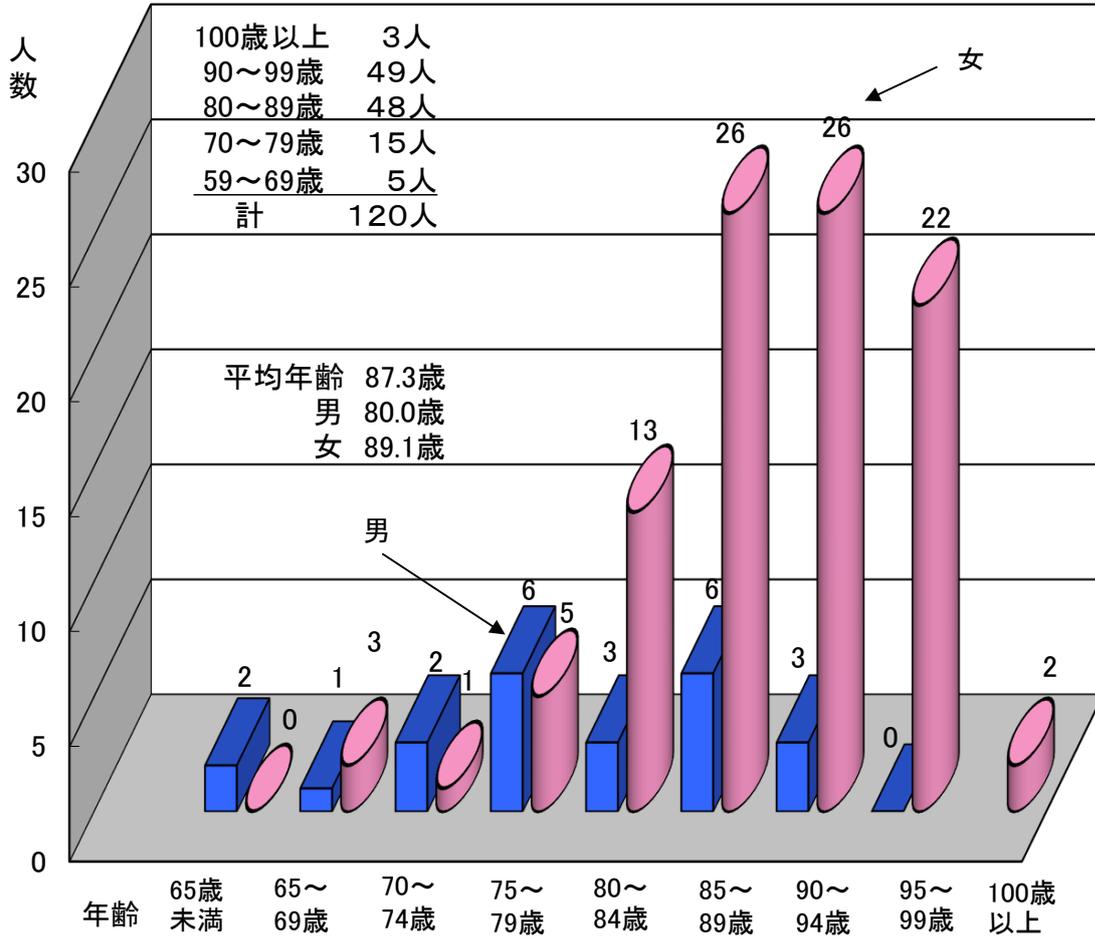
3. 職員年間目標 「心を一つに、チームケアの徹底を！ 一人一人に心のこもったケアを」

新設のハートケア鶴ヶ谷開所にあたり、10 月 1 日より新人職員を順次採用し暁星園で事前研修を行っている。その結果、平成 30 年 3 月 31 日現在の職員数は 114 名（前年比 13 名増）となった。

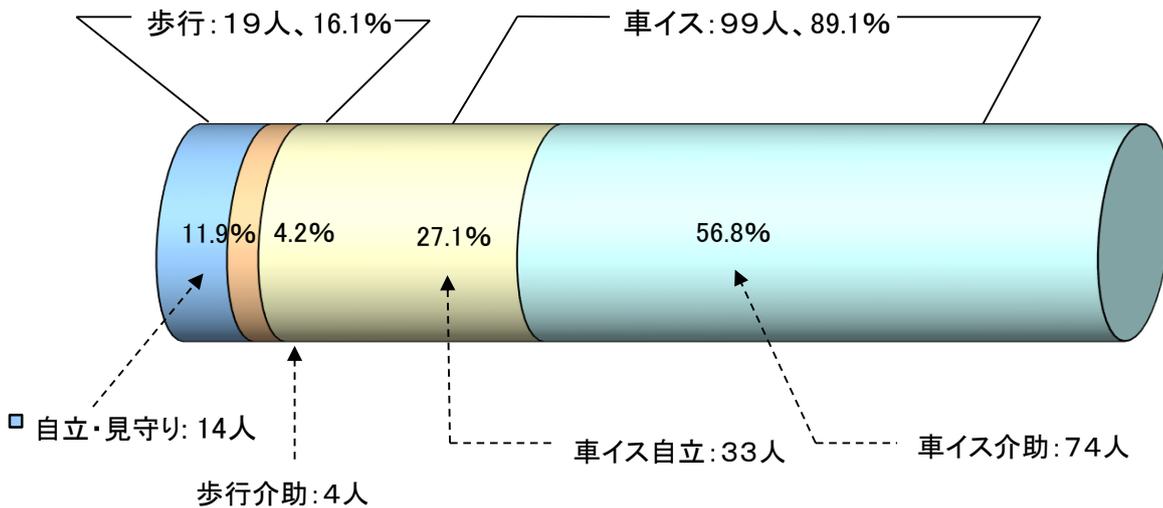
その中で、4 フロア・14 ユニットに分散する職員同士の連携を図り、法人の基本理念・暁星園の基本方針が職員全員に浸透できるよう、新人職員研修をはじめケアワーカーのスキルアップ研修等を行った。

ターミナルケア、パストラルケア等、暁星園の持っているノウハウと伝統を更に発展させるため、入居者一人一人の心身の状況に合わせた個別ケア、チームケアの徹底に努めた。

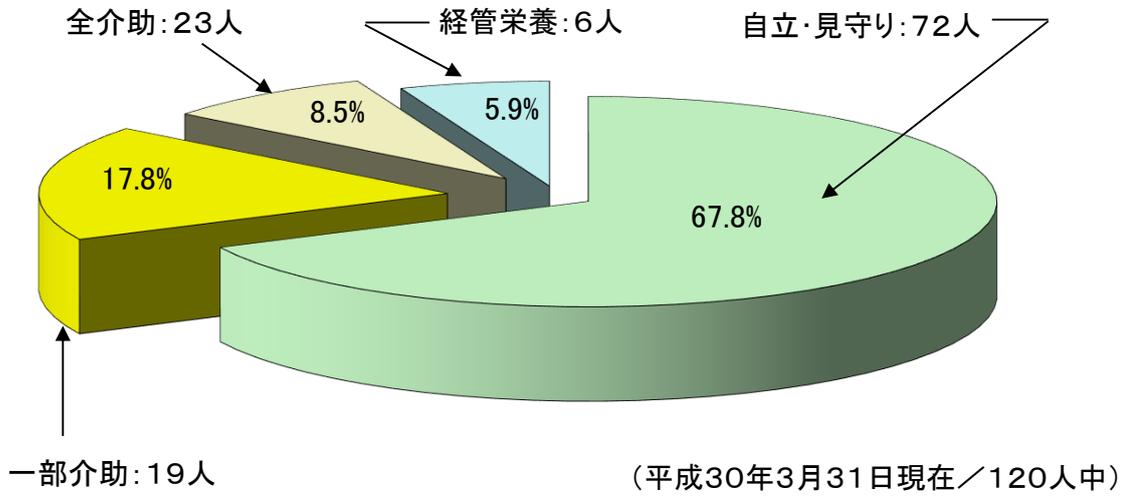
暁星園入居者年齢構成 (平成30年3月31日現在)



日常生活状況／移動 (平成30年3月31日現在) 120人



日常生活状況: 食事動作



排泄状況: 昼間

